

高橋はじめ通信

NO.17

2024.1月

かけはし



■事務所 〒875-0041 臼杵市大字臼杵72番地の47

TEL・FAX 0972-83-5911 E-mail hazime.ast8@gmail.com

新年を迎えました! 2024年が皆様にとってよき1年でありますように

2024年がスタートしました。去年は、皆様にとってどんな年だったでしょうか。

世界に目を向けてみると、ロシアのウクライナ侵略は相変わらず続いており、終結の見通しはたっていません。加えて、ハマスとイスラエルの戦争も起きて、多くの一般市民や子どもたちが犠牲となっています。

大分県でも、日出生台での自衛隊と米海兵隊との統合訓練が年度内で2回も行われ、また大分空港を使った自衛隊戦闘機の離着陸訓練等も初めて実施されました。大分市敷戸の弾薬庫に長距離ミサイルを保管するための新設工事も始められました。そのミサイルを扱う部隊も湯布院自衛隊駐屯地に作られるようです。「何か戦争ができる準備をしているようだ」と不安を口にする住民の方もいます。世界情勢が不安定な中、私たちの生活の安心・安全が脅かされないようにしなければなりません。国や県に対し、十分納得のいく説明を求めていきます。

一方、円安等による急激な物価高にあえいでいる方たちもいます。子どもへの虐待事件、いじめや不登校の子どもたちの数も増加しています。人をだまして大金を手に入れようとする詐欺事件も、後を絶つどころか増えています。大人社会のひずみが子どもたちに与える影響は大きなものがあります。

政治がもっとまともにならないと、このような事象は減らないでしょう。社会的に弱い立場の人たちに寄り添う政治こそが、今必要です。多様性を認め合い「排除」ではなく「共生」の社会こそが、これからの日本に求められています。その実現に向けて、本年も微力ではありますが、精いっぱい力を尽くしていきます。

これからもがんばりますので、よろしくをお願いします。



県道633号線(川登臼杵線) 改良まであと少し

ずっと言ってきました県道633号線の乙見地区の部分改良工事が、あと少しのところまできました。年度内には通行できるのではないかと考えていますが…。これが完成すれば、臼杵と野津間がまた一つ便利になります。



第4回定例会が終わりました

物価高騰対策など23議案が可決しました

2024年第4回県議会定例会は、11月27日から12月13日までの会期17日間で開かれました。途中、国の補正を受け一般会計の補正予算案(補正額358億3650万2千円、累計額7796億7201万1千円)が提案されました。

その他、県職員や知事、県議などの給与・報酬を引き上げる条例の一部改正案や人事案など含め、23の議案はすべて可決・同意されました。また、今回県民クラブからは意見書の提案はありませんでした。

補正予算の主な内容は、以下の通りです。

1 補正概要

補正予算額	35,836,502千円
既決予算額	743,835,509千円
累計	779,672,011千円

2 補正事業の主な内容

【物価高騰対策事業】

①LPガス等激変緩和対策事業

.....9億6,300万円

*エネルギー高騰に影響を受けるLPガス一般消費者や特別高圧契約で受電する中小企業に支援する。

②地域公共交通燃料高騰緊急支援事業

.....9,512万9千円

*燃料費高騰で厳しい経営状況の地域公共交通事業者を支援するため、乗合バス等の運航に必要な経費を期間延長して助成する。

③和牛子牛生産性向上緊急対策事業(新)

.....1億679万円

*飼料価格高騰等で子牛価格下落の影響を受ける畜産農家の経営継続を図るため、繁殖農家の生産性向上の取り組みを支援する。



【賃上げと生産性向上の実現】

④介護職員等処遇改善事業(新)

.....7億9,781万2千円

*介護職員や看護補助者等の処遇改善を図るため、賃金の引き上げに要する経費に助成する。

⑤中小企業等省力化・生産性向上支援事業(新)

.....4億4,000万円

*人手不足対策に向けた省力化や生産性向上を図るため、ロボットやデジタルツール等の導入を行う中小企業等に対し助成する。

【災害に強い強靱な県土づくり】

⑥農林水産業成長産業化関連公共事業

.....32億6,680万6千円

*変化に対応可能な農林水産基盤を確立するため、園芸産地の規模拡大に向けた水田畑地化等の基盤整備を実施するとともに、再造林や間伐等の森林整備を支援する。



【その他】

⑦児童等被害防止対策推進事業(新)

.....2,475万円

*保育施設や児童養護施設等における性被害の未然防止と早期発見等のため、施設設置者が行うパーテーションやカメラの整備に対し助成する。



2024年度当初予算要求状況

各部局要求5,470億円に

2024年度一般会計当初予算案の要求状況が公表されました。要求総額は5470億円3800万円で、23年7月の補正予算時より383億8100万円減りました。主に、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、関連の事業が減少したためです。人材確保・育成や燃料高騰対策、子育て支援などが重点項目として挙がっています。

《2024年度当初予算編成の基本方針》

※(新)は「新規事業」、(特)は「新おおいた創造挑戦枠事業」

予算特別枠の設定 「新おおいた創造挑戦枠」……………20億円

多様性を認め合い共生・共創する社会への要請や人口減少、環境問題の深刻化に対応するため、予算特別枠を設け効果的な新規・重点事業を投入し、新しい大分県の創造に挑戦する。



《部局ごとの2024年度当初予算の主な要求事業》

○総務部 政策県庁を担う人材確保・育成事業……………約675万円

政策県庁を担う人材を育成するため、職員研修制度の充実などの環境整備を整える。

○企画振興部 広域交通ネットワーク構築事業(特)……………約2,346万円

東九州新幹線や豊予海峡ルート(四国新幹線等)の実現に向け、国への要望活動や地元機運の醸成のため、シンポジウムを開催する。

○福祉保健部 児童相談所施設整備事業(新)……………約1億5,676万円

近年増加傾向にある児童虐待に適切に対応するため、児童相談所及び一時保護所の施設整備を行う。

○生活環境部 女性が輝くおおいたづくり推進事業……………約3,835万円

女性が活躍でき、男女が共に働きやすい社会の実現を図るため、「オールおおいた」で働く女性等の支援を行うほか、企業・女性・家庭の意識改革を促すセミナー等を実施する。

○商工観光労働部 宇宙関連産業創出事業(特)……………約7,138万円

大分空港における水平型宇宙港の実現に向けて、調査・調整を進めるとともに、宇宙関連産業に挑戦する県内企業等を支援する。

○農林水産部 全国豊かな海づくり大会開催事業……………約5億730万円

水産資源の保護や環境保全の大切さを訴えるとともに、漁業の振興と発展を図るため、24年11月に第43回全国豊かな海づくり大会を開催する。

○土木建築部 県営住宅子育て環境整備事業……………2億6,930万円

子育て世帯が快適に暮らせる住戸を提供するため、既存県営住宅の子育て世帯向けの住宅改善に取り組む。

○教育委員会 遠隔配信を活用した次世代型教育システム構築事業……………約9,357万円

どの地域においても多様で質の高い高校教育を提供するため、遠隔教育システムの整備等を行う。

○警察本部 交通安全施設高度化推進事業(新)……………約5億715万円

交通信号機のLED化を推進するとともに、交通管制システムの高度化に向けた整備等を行う。



昨年、大分県教育委員会はようやくその重い腰を上げ、夜間中学校の「模擬教室(体験説明会)」を開催しました。県内6会場(各教育事務所)で夏と秋の2回、計12回実施しました。

県教委によれば6会場で31人が参加。大分、別府、日田、竹田の4市では7人が夜間中学校で学びたいと答えました。ただし、5人が「毎日通えるが場所による」、2人は「毎日は通えない」と答えたそうです。岡本教育長は「ニーズへの対応や教育課程の編成など調査研究に取り組む」と答えましたが、たとえ1人でも2人でも「学び直したい」と思う人(子ども)がいれば、その機会を作る努力をすべきです。すでに九州各県は、夜間中学校の設置に向け取り組みを進めています。大分県だけ、後れを取るわけにはいきません。

「中九州自動車道」のルート方針決定

大分宮河内IC－犬飼IC間「山側ルート」に

「中九州横断道路」でまだ未着工の大分宮河内ICと犬飼IC間について、国土交通省九州地方整備局は12月4日、大分市の吉野地区を通る「山側ルート」で整備する方針を決定したとマスコミが報じました。災害時における機能維持などから、他の「現道活用ルート」「平地ルート」より優れていると判断したということです。

大分県は「山側ルート」を国に要望していました。メリットとして①大野川流域の浸水想定区域をほぼ回避②大分市の3次医療施設に30分以内で到着できる住民の数が最も多くなる…等が挙げられたということです。

そして、中間の吉野地区にICを設けることで、何よりも臼杵市にとって豊肥地区等との往来が活発になるほか、国道10号線が使えない場合でも大分市へのアクセス方法が増えるというメリットがあります。

今後は国が詳しいスケジュール等を詰めていくこととなります。事業着手の時期は未定ですが、大分県にとっても臼杵市にとっても、大きな一歩を踏み出したこととなります。早期の着工をめざすよう要望してまいります。



(▲ルート図は「大分合同新聞12月4日分」より転載)

はじめの活動日誌

10月

- 4日 第4回県議会定例会閉会
- 9日 敷戸弾薬庫の説明と意見交換会(吉川事務所) [写真①]
- 10日～16日 決算特別委員会
- 25日 民主教育をすすめる県民会議幹事会(県教育会館)



写真①

11月

- 2日 大分分屯地の火薬庫整備に関わる住民説明会参加(敷戸小学校) [写真②]
- 4日～5日 会派地域課題学習in豊後大野市に参加 [写真③]
- 8日 土木建築委員会県内所管事務調査(中津市・日田市)
- 14日～16日 議会運営委員会県外調査(東京・茨城・栃木各県)
- 27日 第4回県議会定例会閉会
教職員との意見交換会(臼杵小)
- 28日 教職員との意見交換会(福良ヶ丘小)



写真②

12月

- 4日～6日 本会議一般質問
- 7日 文教警察委員会および土木建築委員会出席
教職員との意見交換会(上北小)
- 12日 教職員との意見交換会(臼杵北中)
- 13日 第4回定例会閉会
教職員との意見交換会(海辺小)
- 15日 教職員との意見交換会(下ノ江小)
- 18日 教職員との意見交換会(佐志生小)
- 21日 教職員との意見交換会(臼杵南小)



写真③

ホームページにご意見、ご要望などお寄せください

最新の議会情報に会報「かけはし」や様々な調査等々、掲載しています。皆様からのご意見やご要望なども受け付けています。よろしくお願いたします。

【ホームページアドレス】
<https://hajime-takahashi.jp/>

QRコードはこちら



【県民クラブHPはこちら】
※セキュリティ強化のため、HPのアドレスが変わりました
<https://kenmin-club.com/>
QRコードはこちら↓

